市内小中学校の情報モラル教育への取組について

令和3年度 第9回 岡谷市校長会（令和3年12月1日(水)）より

- ① 各校で発生したSNS等のネット環境に起因するトラブルの状況について
- ② 各校における情報モラル教育の現状や進捗状況等について

① 各校で発生したSNS等のネット環境に起因するトラブルの状況

- ・ オンラインゲームを介した人間関係のトラブルが学校へ持ち込まれてしまったり、ゲームの様子を安易にネット配信してしまったりする。
- ・ LINEのやりとり（グループLINEへの書き込み等）によって人間関係のトラブルが生じてしまう。
- ・ 個人用の端末を所有するようになる時期が低年齢化している。中学校では生徒の8割程度が所有しているという実態がある。

② 各校における情報モラル教育の現状や進捗状況等について

《事例で学ぶNetモラルを活用した情報モラル年間指導計画》の活用【資料No.1-②】

- ・ 岡谷市では、児童生徒一人一台学習者用端末やパソコン教室に設置しているPCで閲覧可能な動画教材を導入している。⇒ 『事例で学ぶNetモラル』（広島教販）
- ・ 4～10分間程度のアニメーションを視聴することで、短時間で学習できる。
- ・ 平成30年度に岡谷市情報教育委員会において年間指導計画を作成。令和2年度に小学校版が更新されている。（小1から中3まで網羅）

《情報モラル教育の実施時間の確保》

- ・ 多くの学校において情報モラル教育の時間を月に1～2回（『ネットモラルの日』『ネットモラルタイム』等）を位置付けている。
- ・ 朝行事の時間や昼帯（お昼の活動の時間）位置付けられているなど日課に位置付け、確実に実施されるように工夫されている。

《道徳科教科書の情報モラル教材による授業》【資料No.1-③】

- ・ 小学校1年生から中学校3年生まで、道徳科の教科書に情報モラル教材が位置付けられており、各校の道徳教育のカリキュラムに沿って学んでいる。
- ・ 読み物資料に加え、「コラム」（小学校）や「深めタイム」（中学校）と一緒に扱うことでさらに学びを深めることができる内容となっている。

《情報モラル講演会等の実施》

- ・ 外部の専門家等を招聘して情報モラル講演会を行った。（複数校）
- ・ 児童生徒だけでなく保護者も対象とした。
- ・ 年度中に実施予定の学校もあり。

《その他》

- ・ 情報モラルについて職員研修を行った上で、全校への指導を行った。
- ・ 一人一台の学習者用端末について、学級や学年で使い方の差が生まれているので、使用目的等を改めて確認し合う機会をもった。
- ・ 社会科（小、中学校）や技術・家庭科（中学校）等でも、情報とどのように向き合っているらよいかを考える学習が位置付けられている。